

NO.103

3 de Fevereiro - 1952

O DIA DE PERNAMBUCANA REG. N. 5.000

料年六ヵ月ゼロ

廣告は落書き市...へ
編輯所高田商店内

バストス週報

録主 日行一 登録名義人
卷五三行一 森 車一
百一ニル一 百九月一 発行所
バストス自活会 C.P.206

講演 七〇クルセド
講演 七〇クルセド

印刷所バストス週報社
C.P.112

お手際 拝見

裸に忍て再出發?

ある十月廿一日バストス産業組合では臨時
総會を開催した。雨の為めか、農業期がせ
いか、相からず岑序者は少いようす。
議案は内外債整理に関する案とあつた
が財金の拂戻しは、暫く言はず五千コント
に余る外債をどうするかといふ当面の問
題を俎上にあいたわけであった。事実は
俎上の正体は整理案不だが或は組合自体で
あるのかも知れない。西苦八苦の組合を捉へ
て多少とも毒舌めいたことを言ふのは慎し
む可きであるが、かりに組合に推
されて立ち上った以上運営、改善、起死回
生の方策皆無といふわけはない筈である。
何らかの政策又は勝玉があつてはじめで
就任したわけ、昔は名手職と心得て就任
した理掌もあつた相だが。

アメンドインの
D'mendin'

收穫期になりました。

アメンドインは数量の
ヨタ少に拘わらず

當店に御岑荷下さい。

バラシサ は正確で
値段 は最上
支拂 は確實です

御取引は絶対確実、責任を以て
御用命に應じます。

一般農產物賣買

岡本商會

ASAS PERNAMBUCANAS FAZENDAS
FILIAES EM TODO O BRASIL

Bastos



あたしタンゼン
ペルナンブカーナ好きで
だつて
あつこりして
親切で
そしてホホホ
とっても買よいんですもの
安いんですもの

皆さまのお店

カーナス
ペルナンブカーナス

2

それは借金を皆済すればよいのである。
どうして返却するか、精神工場を運転

王子のコミニソンをかき集めても支持利息にも及ばぬものと悲観論者はいふかも知れぬが新理事たちは、その直即方法を考へついたのである。だが何分にも五千三トからの大金だ業は立てて見ただが一応組合員諸君にもう説解を得て本がねはと――いふのが一月廿一日の臨時総會となつたわけである。

ダッタ ゆづります
場所、アーヴィング・バークス街シネマ館の前
家屋と道路間に尚六メートルの空地を
存し利用価値多し

商談 御希望によつて、い
獲利に貢らひます

アリヤ
O.K.
河戸

買いよい店

雜貨

雜貨
梶田笑商店

精能百妙の宿谷式

久の宿卷五

永人

一、商業小志ある青年より来札

一、身元保証人を要す

一九二九年正月五日
新宿区立第一幼稚園

カーサ ヴニビンサール（玉田）

養蚕家各位

アーレンボンナ バル加ス 著(エカイ)

佐伯製綿所

こう考へてみると組合の前途は輝然として五彩の光を發するではないか。
そうですよ 裸に着て出でます事、繪玉
だとて所要によつて扇をさくる事もある
だか、まくり方がわるいと、後せまでも後ろ
指をさされてバストス人には金は貸せないな
どといふ事にもなりかねない。
このところ十萬に一番のかね合はよく行
きとめて、お手際洋見しとゆきませう、

映画座談会の原稿未到着につき
休載。執筆者に告ぐ至急送稿あれ

緒々ここなり何でも當店へ

郵便不明の手紙 2.

(日本より)

受取人 差出人

田中トキ工様 広見島 田原次郎
中崎岩吉様 中崎金朝羅
岡村時子様 福岡山中
渡辺祐郎告様 三重 渡辺嘉十郎

(国内)

キリエカ太 ワタセタケ

京野辰立郎

宮村ヨシ子

黒川喜二郎

吉沢徳安

相川清

千賀エキ次郎

吉沢徳安

相川清

遠藤草治

河股勝久

右内、遠藤、河股氏、今ハ山本商店販

附スガ様宣上全部左龍二保管シ

テアリマス故心当ク・すハ大至急!

植木商店へ取ニ來ニ下サ

バスヌ聯合青年団新役員

去る一月廿日バスヌ聯合總會、事業会
館に於て開催せられ本年度の役員、左
記の如く改選された。

團長 三野善一 副 高井四九
總務 田中徳一 金計 津原昌雄
文化部長 古賀一郎

産業部長 稲本輝利

陸上部長 島本昇

野球部長 西 徹

支子役員

香川良一

委員 矢野清香 見坂吉ア

吉田よ子

國に團長に選舉された三野善一(日家越)、
都合上就任を引受けないで方一辞任ともな
れ前記の競振社に変化あるものと観測
する

バスヌ將棋 大會開催



バスヌ將棋界の大天狗、小天狗、木の葉
天狗、腕がうなつて仕方がないので、遅く大会
を開いて、思禁将棋合戦ふこととなつた。
從来の例によつて無名義士ばかりの手合せ
するが又は各地を行はれる名入位戦云々
の所承度であるが、元老小橋幸三郎、谷
口幸兵等の意見に従つて組合を定めて
公平を當全の方策を選みたいたと思つて
まだ確定的ではないが

期日 来る二月廿四日(日)

場所 佐野食堂階上

会費 三十銭程度

そ此種面白い、是非やれ!賞品はうんど
寄贈が得ると云つて下さる事も、決山ある
と思ひます。紙上にて御礼廣告は勿論い
たゞますが、御遠慮なくとし、寄贈方
御申越して下さい。

(ゆきじ立てましては邊縞奈リ小橋さん
津土所の折り週報社へまよ子と云ひ
いふ) ほんに指因預け度いことがあります

大飯を喰ふてひだるいうつらの眼
世の中をうまく泳いで濁った眼
眼に角立てて女房をぐり出で
眼の底は白い年老にすがった眼
うつろなる眼で島台へかしこり
應接間僅かひと眼で客を呑み
木の人縫り難く眼を持ちて
薄っぺらな赤い唇半まい眼
さよろつく眼赤のだが目に見られ
カメラマン巨乳の眼と眼先迷ふす

戶籍事務完了

昨年当伯国に在外事務所が設置され、永らく中絶していた戸籍届の受付を開始されましたので、バストス自治会では之が取次と開始し、本年一月末日を以て完了致しました。
受理の大部分は既に手交済みであります
が、左記のものには尚不備の点があるので、
至急石橋事務所まで御足労下さい。

左記の書類付期限功効にて受理候事
原清、井上利夫

左記の婚姻届は他國法令に基き婚姻せし所要の証明書謄証書が必要です

增田馬一 桜井元三

マンダインボーラ事件の

三
霜之辭二氏提供

中 実 千早松三郎 妻の本籍番地ナレ
タロリヤエー 氷 木 彩 木籍番地ナレ
受理書保管(至急取引に来ら北慶モ)
首麻新一、川辺正身、内藤金太郎

證明書作成費立替分

左記の方は至急貴用立替令御持參下さい。之水は元々各自薪金を以てカルトリオに依頼すべきもので、督促を受けて、打手であくは實のものでないことを申上げておられます。

力大カタタニ江原三〇.〇〇 平井及六〇.〇〇
菅波及一八〇.〇〇 石田及三〇.〇〇
エスペランサ区 池田及二八〇.〇〇 多ロリヤエ区
梅原及一二〇.〇〇 内馬場六四〇.〇〇 ウキン
立見窪田及六〇.〇〇 フヤルツキラ区 新谷
及大〇.〇〇 木ノ原ニ西モ迫及六〇.〇〇 清水及
一二〇.〇〇 中央長岡及三〇.〇〇 三沢吉〇〇〇
首藤及三〇.〇〇 西及六〇.〇〇

家族者を求む

養鶏の仕事をして下さる家族
を探して居ります、

子供さんを通学せしめるのに至便存
陽所一豪遇、とします。

久口一リアⅢ 一〇二号地区

C. Postal 53

シヤーカラ

漢
立
祖

水車
で
粉の貯挽きをはじめました
御利用下さい
場所 バスス精機工場(元のシキットマキナ)下

れば一万二千アルケルの中九千減を分譲し残りの三千アルケルは不良土地と見做して保留するとの事であるなり、十城六コント四百三十針は諸経費を九千城に今賦しての計算なることはいふ迄もない、然るにバストス一方ニ千アルケルは殆んど分譲してゐる現情であるから最初の計算から見れば九百コラテを超過せるロット数丈の土地代金は全部六コント四百三十八針から控除すべき性質のものである、アラカガ營利会社の代行機関ならばいざ知らず、營利を目的とせざる移住組合の代行機関たる建前から、又組合員の利益を主体とする組合モル自体の性質から諸建物補助金全額ど九百ロットを超過せるロット代金とは六コント四百世八針から控除し土地代金を減額することが至当であると信ずるものである。

中々鋭鋒当りがたき堂々の布陣であるが其次の行には一寸か水しが見える、つまり、この正論を受付けぬ如きことあらば、それはアラカガが不正当不合理である故、吉々モ亦不正当不合理な手段に訴へても、この要求貫徹の爲めには争闘を覺悟しているとタシカを坊つて居るのである。

アラカガでは土地に等級を附してあるが、南北は珍非栽培を主としたもので栽培不許可の同じ一等地でもテンからキリ迄ある、それが一律平等に土地代を拂へといふのは不公平、不親切だ、土地選定の決定は抽籤によったものだから、最も公平たしといふアラカガの言い今は、あたまりである土地選定の方法と土地代金とは全然別個の問題

である、全然別個の問題を同一視することは誤りである、誤謬を悟らず正當たと言ふまうは馬鹿が横着かどちらかだそれなりどうすればよいか、土地の良否と交通の便否を考慮して等級を定め、等級に応じて土地代を負担せしむることが合理的で、是非こうすべきなりぬ……」森文はマイス詳しいのだが驚愕してすみにくいから此の程度に署した。

通林通所といふ言葉がある、有川、雷山、西氏日植氏の丹那様などに於て渡辺先生にはなかつた。かりに地位を替えて畠中さんなど入れ代つて一芝居行つたら又面白ハ劇中劇が生れたかも知れまい。

(本稿次号にて完了)

土地譲る

4回目

- 一、場所 一千六エヌペランサ 一〇ヘクタール
- 一、面積 二十アルケルトス (ホルマード)
- 一、菜園 三アルケル半
- 一、牧場 三アルケル半 (セルウード)
- 一、実樹 パララ、パラ、實樹三百本
- 一、住宅 十二米ニ七メートル
- 台所、別室六朱ニ五米半
井戸、猪場 母屋ハドミ
一、養蚕室 五十木ニ六朱一棟
- 一、雜室、馬車小屋、倉庫
完備せら農場、移転の為め安く申づる

木林下瀧次

句評

。繪 日今を痛く牡丹が生れけり 春歩
。日本製の淡絹が絵綿の繪日今である、それを女の子が家を出て、ごく普通のしぐさや聞いて、かるく柄を肩にあてた、こちらかわそり聞くときの様子を見ると聞いたとたんに今に描いた牡丹が目に鮮やかにうつった、その感動を「生れけり」と表現したのである、此の句、句食でも高点であったが果して愈勝選だった。